

平成28年度 新型インフルエンザの 診療と対策に関する研修

今後発生が懸念される
新型インフルエンザに備えて

2009年の新型インフルエンザ(A/H1N1)の世界的な大流行以降、新たな新型インフルエンザは発生していませんが、アジア諸国等においては、依然として豚や鳥インフルエンザウイルスのヒトへの感染が確認されています。

新型インフルエンザ等対策特別措置法、新型インフルエンザ等対策政府行動計画、政府の新型インフルエンザ対策では、新型インフルエンザ発生時における予防接種制度「特定接種」「住民接種」が設けられるとともに、抗インフルエンザ薬の備蓄など、新型インフルエンザによる健康被害や、社会・経済活動の影響を最小限にとどめるよう体制の整備が進められています。

本研修では、新型インフルエンザの対策や制度について、4人の専門家が解説いたします。

【日 時】 2016年11月6日(日) 13:00~16:00 (受付開始12:30)

【会 場】 イノホール&カンファレンスセンター(東京都千代田区内幸町2-1-1)

【主 催】 厚生労働省

【共 催】 日本呼吸器学会、日本感染症学会

【後 援】 日本医師会、日本環境感染学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会

【プログラム】

～第Ⅰ部～

■司会 日本感染症学会理事長/慶應義塾大学医学部 感染症学教室教授 岩田 敏

■講演1 (30分・質疑応答10分)

予防:新型インフルエンザ ワクチンの現状と課題について

国立病院機構 三重病院 臨床研究部長 谷口 清州

■講演2 (30分・質疑応答10分)

診断と治療:重症例を中心とした新型インフルエンザの診療について

防衛医科大学校 感染症・呼吸器内科教授 川名 明彦

<休憩(約20分)>

～第Ⅱ部～

■司会 日本呼吸器学会理事長/日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野
主任教授 橋本 修

■講演3 (30分)

新型インフルエンザ対策における、抗インフルエンザ ウイルス薬の備蓄の現状について

厚生労働省健康局結核感染症課 課長補佐・エイズ対策推進室長 野田 博之

■講演4 (30分)

抗インフルエンザ ウイルス薬の薬剤耐性化とその対応について

自治医科大学 小児科学 講師 田村 大輔

*** 第Ⅱ部質疑応答(20分) ***

(敬称略)

新型インフルエンザの

診療と対策に関する研修

■日時 2016年11月6日（日） 13：00～16：00（受付開始12：30）

■対象 新型インフルエンザの診療に従事する医療従事者など

■参加方法

参加は無料です。受講を希望される方は下記のホームページからお申し込みください
<お申込先>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/kouen-kensyuukai.html>

※事前申込制につき、定員（500名）に達し次第、締め切らせていただきます

※頂いた情報は参加登録のみに使用し、その他の目的では使用いたしません

■その他 参加者には、以下の単位が付与されます。

日本呼吸器学会専門医更新研修単位（2単位）

ICD制度協議会資格更新点（2点）

■お問い合わせ先 ※上記申込サイトにアクセスできない方は御一報ください

厚生労働省健康局結核感染症課 新型インフルエンザ対策推進室 成瀬・山岸

TEL：03-5253-1111(内線2094) FAX：03-3506-7325

■会場 イノホール&カンファレンスセンター

<住所・電話番号> <https://www.iino.co.jp/hall/access/>

東京都千代田区内幸町2-1-1 TEL：03-3506-3251

<最寄り駅>

◆東京メトロ 日比谷線・千代田線
「霞ヶ関」駅 C4出口 直結

◆東京メトロ 丸ノ内線
「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分

◆東京メトロ 銀座線
「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分

◆東京メトロ 有楽町線
「桜田門」駅 5番出口 徒歩10分

◆JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩10分

◆都営地下鉄 三田線
「内幸町」駅 A7出口 徒歩3分



MAP

今後発生が懸念される

新型インフルエンザに備えて